

第20回日本心血管インターベンション治療学会 学術集会 (CVIT2011) の開催にあたって



CVIT2011 第二十回日本心血管インターベンション治療学会学術集会
会長 南都 伸介 (大阪大学)

第20回日本心血管インターベンション治療学会学術集会(CVIT2011)を開催にあたり御挨拶申し上げます。
私の属しております大阪大学先進心血管治療学講座は平成19年に誕生いたしました。その開設目的は、まさに心血管インターベンション治療に特化した臨床、研究、教育の実践であります。本講座開設五年目を迎える2011年に、歴史ある本学術集会の第二十回を担当することは、講座の開設成果を問われる意味もあり、身に余る光栄と感じつつ、責務の重大さに身が引き締まる思いであります。

おかげさまで、956題もの一般演題の応募をいただきました。厳正な査読により874題の演題を採択いたしました。この場を借りて査読委員の先生方に感謝申し上げます。本年次集会のメインテーマは「道を究める：豊かな知識、確かな技術、そして新たな工夫を (Toward greater knowledge, skills, and technology)」とさせていただきました。そして、特別講演を3セッション、特別企画を12セッション、教育講演を10セッション、シンポジウムならびにパネルを44セッション、さらに大阪大学からPCIの関西労災病院からEVTのライブを用意しました。インターベンションのエビデンスから技術におよぶ幅広い知識を学んでいただき、インターベンションのさらなる成績の向上と心血管疾患全般への適応を目指した新しい治療機器の情報を習得し、確かなインターベンションの技術をライブで学んでいただけると確信しております。

本年三月に東北地方を襲った地震ならびに津波により多くの人命が失われました。また、多くの人々が復興に向けて大変な毎日を過ごされています。従いまして、本集会では、会長招宴を取りやめ特別企画<大災害時に循環器医が何をすべきか、何ができるか>を設定しました。今回の震災に何ができたのかを振り返り、もし今後起こるような場合に何ができるのか、何をすべきか皆さんとともに考えたいと思います。会場では義捐金箱を設置しております。皆様の熱いご支援をお願いいたします。